

# みゅーじあむ・船橋

令和7年9月

Funabashi Historical Museum & Tobinodai Historic Site Park Museum News  
みゅーじあむ・船橋  
Vol.25



第25号

|                             |       |
|-----------------------------|-------|
| 博物館ニュース                     | [2]   |
| ちょっと珍しいまちの風景 ～向かい合う鳥居～      | [3]   |
| 船橋の明治・大正・昭和                 |       |
| 「コケッコー」との声に誘われて ～船橋の家禽統計調査～ | [4-5] |
| 船橋の遺跡を知ろう 船橋の金属利用の広がり       |       |
| ～夏見台遺跡を中心として～               | [6-7] |
| インフォメーション                   | [8]   |

# 博物館ニュース

## 郷土資料館

### クイズラリーとミュージアムカード

郷土資料館では令和4年12月から「船橋なぞときクイズラリー」を行っています。これは館内の展示品や、展示パネルに書かれた内容をヒントに、出題された3問の歴史クイズに挑戦するものです。

このクイズは複数枚のクイズ用紙が用意されていますので、来館のたびに新鮮な気持ちで挑戦できるようになっています。また、裏面には当館で展示しています「タイムトリップゲート」に描かれたイラストの塗り絵も、このクイズの楽しみの一つとなっております。

そして、クイズラリーを全問正解した人への景品として、令和5年1月からは当館作成のミュージアムカードを配布しています。このカードは当館所蔵の資料を「火」「水」「木」「土」「金属」の5属性に分類したもので、正解者にランダムでプレゼントするものです。現在、ミュージアムカードは第5弾まで作成しており、バラエティに富んだカードコレクションができています。

なお、配布するカードの中には一定の割合でシークレットカードが含まれています。プリズム加工されたシークレットカードを求めて、クイズに正解した子どもたちの「当たった!」「カードがダブった」などの悲喜こもごもの姿が、ロビーでよく見られるようになりました。

楽しく船橋市の歴史を学べるクイズラリー、ご来館の際には是非挑戦してみてください。



## 飛ノ台史跡公園博物館

### とびはくの夏休み「とびはく大冒険」、「第24回縄文コンテンポラリー展 in ふなばし」

飛ノ台史跡公園博物館では、令和7年7月19日から「とびはく大冒険」、20日から「第24回縄文コンテンポラリー展 in ふなばし」を8月31日まで開催しました。

「とびはく大冒険」では、クイズラリーや第3回とびはく所蔵土器人気投票、有料ワークショップを多数開催し、賑やかな夏休みとなりました。有料ワークショップの「エコクラフトで作る土器・土偶」では、可愛い土偶や不思議な土偶、カッコいい土器が完成し、親子で楽しむ様子が見られました。

「第24回縄文コンテンポラリー展 in ふなばし」では、当館に所蔵されている縄文土器や土偶といった縄文時代の創造物から受けたインスピレーションを基に、アーティストの自由な想像によって生み出された作品を展示しました。今年度は9名のアーティストが「祈り」をテーマに、多くの作品を生み出しました。7



エコクラフトで作った土偶



「熱い面影」 青野 正 作

月20日のオープニングイベント「縄文アートまつり」では、「令和の縄文土偶をつくろう!」のワークショップ、9名の展示作家による「アーティストトーク」、人形劇パフォーマンスが行われ、209名の方が来場されました。他にも「カラフルな樹脂ねんどでオリジナル土偶を作ろう!」、「木のカケラで作る縄文のいきものたち」などのワークショップが開催され、200名が参加しました。会期中には、4,760名の来場者があり、多くの方がいつもと違う「とびはく」を堪能されたのではないのでしょうか。





## ～向かい合う鳥居～

皆さんが普段住むまちで、何気なく見る風景にも歴史は必ずありますし、調べればその理由が分かるものも多くあります。今回は、まちの歴史が絡んだちょっと珍しい風景をご紹介します。

### ◆ 旧法典地区の二神社

船橋市北西部、現在の藤原、上山町、丸山にあたる旧法典地区は、江戸時代前期に行徳に住む人々が開拓した場所です。延宝3(1675)年に幕府の役人による検地が行われ、集落もこの時期に成立したもののと思われます。ただし、米が収穫できる土壌ではなく、主に野菜や燃料となる松の栽培を行い、木下道(現・木下街道)を通って行徳へ収穫物を卸していたそうです。

さて、この地区には木下街道をはさんで二基の鳥居がほぼ向かい合うかのように存在します。藤原神明社と上山神明宮です。この二社は直線距離で200メートルほどの距離に位置しており、非常に近い場所にあると言えます。しかしながら、その佇まいは非常に対照的です。

### ◆ 森に囲まれた上山神明宮



上山神明宮 参道



上山神明宮 境内

上山神明宮は木下街道の南側にあります。参道である細い道を抜けた先にあり、木々に囲まれた境内が広がっています。本殿を中心に、境内のあちこちに様々な石造物や境内社が置かれています。配置が雑然としていることから、時代の移り変わりと共に少しずつ祀るものが増えていった、という印象です。

『船橋市史 前編』によると、この神社は集落が成立した17世紀後半に建立したとされており、祭神も行徳にある神明神社から分祀されたと伝わっています。

### ◆ コンパクトな藤原神明社

藤原神明社は木下街道の北側、それも街道に面し



藤原神明社

ており、木々に囲まれてはいますが境内はそれほど広くありません。また、鳥居から本殿までの参道が短く、境内も本殿と拝殿、そして数基の石造物で構成されているなど、上山神明宮と比較すると非常にシンプルな配置となっています。

『船橋市史 前編』

によれば、藤原神明社も上山神明宮と同時期に建立し、同じく行徳の神明神社から祭神を分祀されたと伝わっています。

### ◆ 向かい合う鳥居の理由

近くに位置するのに、二社の境内や雰囲気はこれだけ対照的な理由は、藤原神明社の境内にある一基の石碑に刻まれています。内容を説明しますと、もともと藤原神明社は現在の場所ではなく、そこから1キロほど東にある「上郷」(現在の法典公民館付近)という場所にありました。ところが明治10(1877)年に火事で神社本殿が全焼したため、明治32(1899)年に現在地に場所を移して本殿を再建した、と刻まれています。コンパクトな境内やシンプルな構造も、こういう事情で整備されたからということです。



藤原神明社 石碑

また、藤原神明社の移動は昔の地名にも残されていました。『船橋小字地図』によると、上記の「上郷」の西側に「神明前」という小字があったことが判明しています。石碑の内容と照らし合わせると、かつてはこの地に神社があったことは間違いなさそうです。

つまり、この二社が隣り合ったのは計画されたものではなく、様々な事情が重なった結果なのです。

一見不思議な風景も、こうして歴史を調べていくことで明らかになっていきます。これも、まちの歴史を楽しむ方法の一つです。(小澤 重和)

参考資料：『船橋市史 前編』(船橋市、1959年)

『船橋小字地図』(滝口昭二、1994年)



## 「コケッコー」<sup>か きん</sup>との声に誘われて ～船橋の家禽統計調査～

「コケッコー」との、にはとりの聲に目を覚めました。少し早いと思ったが、起きた。外はまだうす暗い。垣根の朝顔が、もう赤白むらさきと、入りみだれて咲いてゐる…<sup>1</sup>

これは大正7(1918)年に船橋尋常高等小学校(現：船橋小)尋常科五年生が書いた文章の一節です。

ところで、みなさんは明治～大正期の千葉県で全国一位二位を争う数の家禽(ニワトリ、アヒルなど)が飼われていたことを知っていますか。さらに、千葉県が全国にさがけて、小学児童を用いた家禽の個体数や卵の数を調べる「家禽統計調査」を行っていたことを知っていますか【写真1】。

これまで家禽統計調査に関する研究は、管見の限り全くありませんでした。そこで今回は、家禽統計調査について調べたことをご紹介します。

### 1 県と国家のねらい

家禽統計調査とは、もちろん家禽飼養に関わる数字を正確に知るためのものでしたが、同時に、千葉県は実際に調査をする小学児童にとっても、教育的価値があるものとして位置付けました。その価値とは、①統計思想ノ養成ト児童ノ特性、②産業ト教育トノ接近、③活キタル教材ト処務的観念ノ養成、④積小為大ノ経済的思想ト共同心ノ養成、⑤言語及礼法ノ実習ト父兄ノ感想<sup>2</sup>、というものでした。

特に⑤の点については、飼養者の家に児童が訪問することで「平常学校ニ於テ修養セル訪問応接等礼

儀作法」を実習できるとしています。加えて、そのような礼儀正しい児童と村民が接することで「小学校教育ノ価値ト其効果ヲ認メラ

レタル」としています。これらのことは日露戦後における国民教育の強化とともに、強力に推し進められた就学率向上の一助になるとも読み取れます。そして県は、「調査上何等弊害ヲ醸スコトナク無事円満ニ終了セリ」と報告しました。

さらに、内務省は明治44(1911)年に以上のような千葉県による家禽統計調査を、日露戦後の地方改良運動における地方経営事業の好例として紹介しており、家禽統計調査は「有利なる副産物の改良発展」に資するものとして位置付けられました<sup>3</sup>。

このように、千葉県や内務省は農家の副業として家禽を飼うことを奨励し、なおかつその実態を把握するために家禽統計調査を行いました。

### 2 家禽飼養の実態

それでは、当時の家禽飼養の実態について、塚田村を例にみていきます。塚田村では明治42(1909)年で89%、大正5(1916)年で83%の家で家禽飼養が行われていました<sup>4</sup>。しかし、『塚田村誌』には、同年の家禽統計調査を受けて「家禽八年々多少ノ増減アレ共研究的ニ飼フモノナク収益ヲ目的トスルヨリ寧ロ古来ノ慣習上飼養スルマデノコト」<sup>5</sup>と記されています。すなわち、塚田村では多くの家で家禽が飼われていたが、地方改良運動において内務省が求めた「研究的」(≡「副産物の改良発展」に結びつける目的)にではなく、以前からの慣習で飼われていたのです。また、船橋市域における当時の町場(二宮、船橋、葛飾)と農村部(豊富、八栄、塚田、法典)における家禽平均飼養数の変化を比較すると、農村部においては一戸あたりの数値の増減が少ないことから、それぞれの家の慣習によって家禽が飼われ続けていたことがわかります【表1】。

### 3 調査はうまくいったのか？

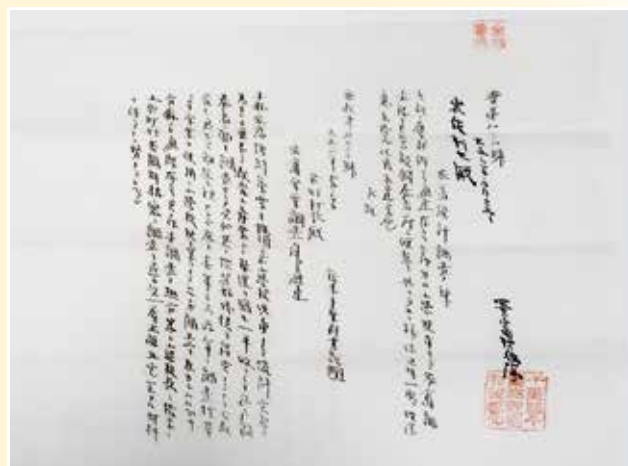
先述したように千葉県によると、調査は「無事円満ニ終了」とされていましたが、実際はどうだったのでしょうか。明治42年度の『船橋町事務報告書』<sup>6</sup>



【写真1】家禽表  
(千葉県文書館保管、山武市教育委員会寄託 許可番号：7-(公)-1)

では、「各教員ノ指導宜シキヲ得タルニ拘ハラズ」、多くの調査漏れがあったことが報告されています。その原因は、「児童ノ罪」ではなく、飼養者が統計の意義を理解せず、児童の質問に対して「少数ナル虚偽ノ答ヲ為シタルモノ多キガ如シ」という有様であったからだといえます。彼らが児童に嘘をついた理由は「全般統計思想ノ乏シキ」という理由に加えて、調査を「課税ノ材料ト誤信」するような人々が多かったからだとされています。このような状況は県全体でもみられたようで、源村(現：山武市)で使用された家禽表【写真1】の欄外をみると、「此票は税金をかくるために調べるものにあらず小学児童に統計の実習をなさしむるためのものなり」と記されています。また、津田沼町(現：習志野市)でも同様に課税のためと誤解しないよう周知して欲しいという通達が、町役場から区長へ出されています<sup>7</sup>。しかし、大正元年度の『船橋町事務報告』<sup>8</sup>では家禽調査を「未ダ正確ノ統計ヲ看ル能ハザルモノ」…「稍々近キニ達セリ」とも記されており、次第に正確な数字を把握できだろうと展望されるようになりました。また、郷土資料館が収蔵している豊富村の役場

史料からは大正2年度、大正3年度と続けて「本年モ」と家禽統計調査が継続的に行われていたことがわかります【写真2】。



【写真2】家禽統計調査ノ件通達 大正3年度  
(船橋市郷土資料館蔵)

今回は国家や県、町村の史料から家禽統計調査について調べました。今後は、家禽統計調査を担った小学児童が家禽や調査のことをどのように捉えていたのかがわかるような史料を探し、読解することを通して、より実態に迫った家禽統計調査の歴史を明らかにしていきたいと思います。(樋浦 豪彦)

【表1】一戸あたりの平均家禽飼養羽数の変化(数字は羽数)

| 年 度        | 豊富村 | 二宮村<br>(町) | 船橋町 | 八栄村 | 葛飾村<br>(町) | 塚田村 | 法典村 | 全体<br>(船橋市域) | 千葉県 | 全 国 |
|------------|-----|------------|-----|-----|------------|-----|-----|--------------|-----|-----|
| 1909(明治42) | 15  | 14         | 8   | 13  | 10         | 15  | 13  | 12           | 10  | 7   |
| 1916(大正5)  | 17  | 17         | 12  | 14  | 10         | 16  | 15  | 14           | 13  | 8   |
| 1928(昭和3)  | 16  | 15         | 12  | 13  | 14         | 15  | 16  | 14           | 15  | 13  |
| 1931(昭和6)  | 15  | 15         | 17  | 15  | 13         | 14  | 15  | 15           | 16  | 16  |
| 1932(昭和7)  | 15  | 15         | 18  | 13  | 14         | 14  | 17  | 15           | 16  | 17  |
| 1933(昭和8)  | 14  | 16         | 19  | 14  | 13         | 14  | 16  | 15           | 15  | 16  |
| 1938(昭和13) | 17  | 20         | 24  | -   | -          | -   | -   | 22           | 16  | -   |
| 1939(昭和14) | 16  | 21         | 19  | -   | -          | -   | -   | 19           | 16  | -   |

1909年度は『家禽統計』から、他年度は『千葉県の家禽』から飼養数(成鳥+雛鳥)/飼養戸数を計算して作成。

- 1 「夏の朝」(『筆之雫』船橋市郷土資料館蔵)
- 2 『家禽統計：附・家禽事業一斑』(千葉県、1910年)。
- 3 内務省地方局編『地方経営小鑑』(報徳会、1911年) 193頁～195頁。
- 4 註2、『千葉県ノ家禽大正五年』(千葉県、1917年)。
- 5 『塚田村誌』(『船橋市史 史料編五』船橋市、1984年より)。
- 6 『明治四十二年 船橋町事務報告』(『船橋市史 史料編六』船橋市、1989年より)。
- 7 『家禽調査に関する依頼の件 大正五年六月』(『習志野市史第四巻 史料編Ⅲ』習志野市役所、1994年より)。
- 8 『大正元年 船橋町事務報告』(『船橋市史 史料編六』船橋市、1989年より)。



## 船橋の金属利用の広がり ～夏見台遺跡を中心として～

弥生時代は日本に金属製品が伝わり広がる時代ですが、昨年行った弥生時代に関する展示を行うにあたり調べていくと、市内からみつける弥生時代の金属製品の少なさに驚きました。金属を研いだと考えられる砥石は出土するので、当時の人々は金属製品を利用していたと考えられますが、貴重だった金属は小さくなるまで使用され現在には残っていないと推定されています。遺跡の発掘をしていると、古墳～平安時代の遺構から金属製品が出土するのは珍しいことではありません。どのように金属利用が広がっていくのか、どんな種類があるのかを遺跡からみつける(=遺跡に残されていた)資料から考えていきます。

今回は弥生時代～中世までの遺跡が調査されている夏見台遺跡・夏見大塚遺跡からの出土品を検討しました。JR 船橋駅の北約1 kmにある夏見台の台地上に広がる遺跡で、古墳時代から竪穴住居跡が増加するこの遺跡は今回の考察にうってつけと言えます。検討に使用した資料は令和6年3月末までに発行された報告書を使用しました。

報告されている金属は393点ありました。そのうち、年代のわかる遺構から出土したものが302

点あり、今回はこれを検討していきます。金属製品は大部分が鉄で、一部銅があります。

様々な種類の金属製品が出土しており、報告書でこれらが何なのかを推定しています。それをまとめ

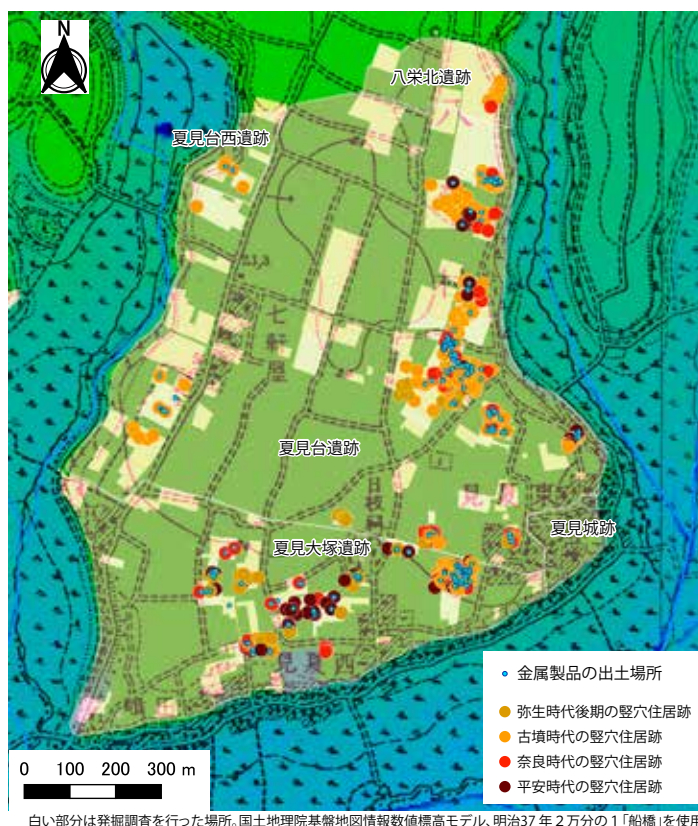
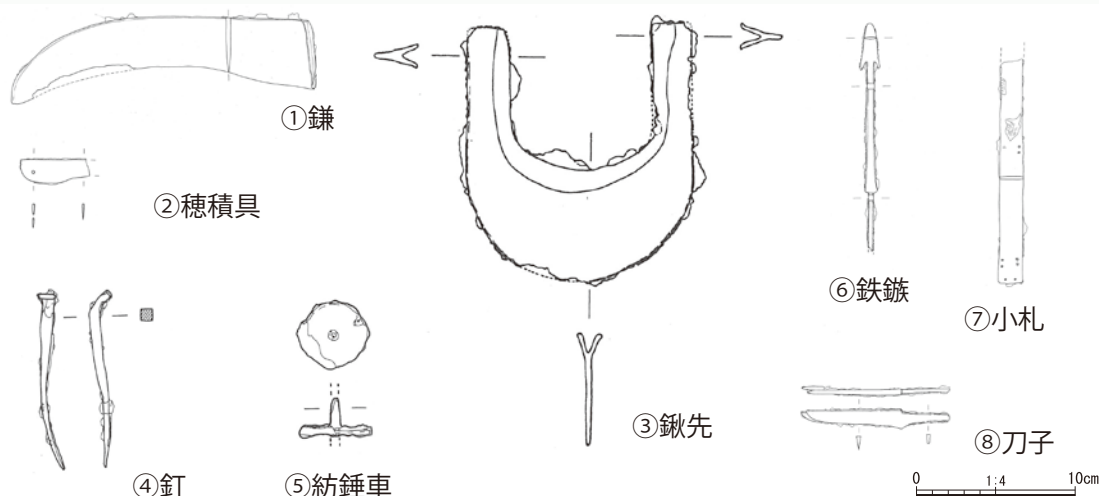


図1 夏見台の金属製品の出土と竪穴住居の広がり



①夏見台遺跡 (28) 第15図11 ②夏見台遺跡 (13) 第20図26 ③夏見台遺跡 (15-2) 第6図4 ④夏見大塚遺跡 (10) 第58図7  
⑤夏見大塚遺跡 (10) 第67図14 ⑥夏見台遺跡 (37) 第13図8 ⑦夏見台遺跡 (20) 第22図34 ⑧夏見台遺跡 (51) 第9図3

図2 夏見台から出土した金属製品の例

たのが表1です。種類が不明となっているものが多くあるのは、鉄は酸素と水分と反応して出る錆びによって形が変わり、また欠けて全体の形が分からなくなっているためです。表1では、時期を弥生・古墳前期・古墳中期・古墳後期・奈良時代・平安時代・中世で分け、種類ごとの個数をまとめました。鉄滓は金属の加工で発生するものです。

図2に金属製品の例をあつめました。様々な種類の製品が出ていますので推定される機能から分けてみましょう。耳環(耳飾り)や帯金具など装飾品も出土しますが、少数です。農具では鎌①が多く出土しています。稲の穂を刈り取る穂摘具②もあり、金属には「切る」という機能が求められているようです。鍬先③は木製の鍬(土を掘る道具)の先に付けて掘る効率を上げていたようです。

木材を繋ぎとめるための釘④も多くみつかっています。しかし、折れて分からなくなっている場合もあり、他の製品の可能性もあります。例えば、糸をつむぐための紡錘車⑤の軸になる可能性もあるでしょう。

武器としては鉄や銅で出来た鏃(弓矢の先端)⑥が出土しており、古墳時代よりも奈良・平安時代に多いという点も注目されます。これが狩猟などの実用だったのか、それとも儀礼のような非実用だったのかは検討を要します。小札⑦は鎧の一部ですが、多数の小札で鎧とする構造を考えると出土は1点のみでこちらは実用ではない可能性が高いです。

工具で注目されるのは刀子⑧です。今でいうところの小刀やカッターナイフのようなものでしょうか。古墳時代後期から出土していますが、奈良時代・平安時代にさらに増加し、刀子は身近な工具としてあったようです。用途としては、奈良時代・平安時代の役所勤めの必須品として、官人は「刀筆の吏」と言われていました。夏見台地の遺跡からは土器に文字を書いた墨書土器も多数出土しており、関連を感じさせます。また古墳時代後期で1軒だけですが、古墳時代中期～後期に行われていた石製模造品を作る工房と考えられる竪穴住居からも出土しており、軟らかいとはいえ刀子で石を切っていたのでしょうか。

夏見台地の遺跡の資料をまとめてみると、竪穴住居の数は古墳時代が最も多いですが、金属製品の出土数は竪穴住居の数が1/4になる平安時代とほぼ同数で、時代が進むと金属利用も広がっているようです。種類はあまり変化がみられず同じような製品が多く出土する様子がみられました。平安時代までは増加していますが、中世になると夏見台の遺跡は数が減り、みつかるものも銭のみになります。

船橋市内の遺跡の発掘は小さなものが多いですが、その報告を集め、再点検することで地域のことが少しずつわかってくるようになります。今後の発掘調査資料の増加を待つと共に、そこからどんな事が言えるのかをこれからも考えていきたいと思います。

(狩野 美那子)

表1 夏見台から出土した金属製品一覧(時期・種類別)

| 時 期     | 竪穴住居数 | 合計  | 農 具 |         |    | 建築 | 糸作り | 武 器    |    | 工 具 |     |       |    | 生産関連 | 装飾関連 |    |     |     | 日用用具 | 銭  | 不 明                    |
|---------|-------|-----|-----|---------|----|----|-----|--------|----|-----|-----|-------|----|------|------|----|-----|-----|------|----|------------------------|
|         |       |     | 鎌   | 手鎌(穂摘具) | 鍬先 | 釘  | 紡錘車 | 鉄鏃     | 小札 | 刀子  | 鍬鉋  | 鍬鉋鉄製品 | 鉄滓 | 金具   | 鉄製口金 | 耳環 | 帯金具 | 毛抜き | 火打ち金 | 銭貨 |                        |
| 弥生時代後期  | 66    | 3   |     |         |    | 1  |     | (銅鏃1)  |    |     |     |       |    |      |      |    |     |     |      |    | (銅製品1)                 |
| 古墳時代前期  | 2     | 0   |     |         |    |    |     |        |    |     |     |       |    |      |      |    |     |     |      |    |                        |
| 古墳時代中期  | 18    | 12  |     |         |    | 1  |     |        |    |     |     |       | 4  |      |      |    |     |     |      |    | (不明銅製品1、板状鉄製品3、板状銅製品3) |
| 古墳時代後期  | 190   | 99  | 10  |         | 1  | 25 | 2   | 9(銅鏃1) | 1  | 15  | 2   | 2     | 12 |      | 2    | 3  |     |     |      |    | 13(環状銅製品1)             |
| 奈良時代    | 37    | 65  | 8   | 1       |    | 12 | 1   | 13     |    | 16  | (1) |       | 3  |      |      | 1  |     |     |      | 1  | 8                      |
| 奈良～平安時代 | 49    | 21  | 2   |         |    |    |     | 6      |    | 9   |     |       | 1  | 1    |      |    |     |     |      |    | (板状鉄製品2)               |
| 平安時代    | 51    | 102 | 5   | 1       | 1  | 20 | 1   | 10     |    | 32  |     |       | 3  |      |      |    | 2   | 1   | 1    |    | 25                     |
| 合 計     | 413   | 302 | 25  | 2       | 2  | 59 | 4   | 40     | 1  | 72  | 3   | 2     | 23 | 1    | 2    | 4  | 2   | 1   | 1    | 1  | 57                     |



# インフォメーション

※両館の行事の詳細は、毎月1日号の『広報ふなばし』でお知らせいたします。

※日程・内容に変更が生じる場合がございます。最新の情報は、ホームページをご確認いただくか、直接両館にお問い合わせください。

## 郷土資料館

※薬円台公園内のSLの運転台を、毎週土曜日・日曜日・祝日（年末年始・雨天時を除く）の午前10時～午後4時に公開しています。

### 【令和8年3月までの主な行事予定】

| 期 日                           | 行 事 名                          | 会 場                         |
|-------------------------------|--------------------------------|-----------------------------|
| 11月16日(日)                     | 文化講演会<br>「文芸作品から読み解く近世の家族観」    | 薬円台公民館 講堂<br>(船橋市薬円台5-18-1) |
| 11月15日(土)～<br>12月28日(日)       | 写真展「昭和 100 年<br>写真と映像で見る船橋の昭和」 | 郷土資料館 3 階第 2 展示室            |
| 令和 8 年1月17日(土)<br>～ 3 月22日(日) | 企画展「くらしの道具展」                   | 郷土資料館 3 階第 2 展示室            |



協力：  
船橋市華道連盟

## 飛ノ台史跡公園博物館

※飛ノ台史跡公園博物館では、土曜日・日曜日・祝日に有料ワークショップを実施しています。

### 【令和8年3月までの主な行事予定】

| 期 日                                                       | 行 事 名                    | 会 場                  |
|-----------------------------------------------------------|--------------------------|----------------------|
| 開催中～10/13(月・祝)                                            | 船橋市の縄文時代にまつわる<br>絵画コンテスト | 2 階展示室               |
| 10月18日(土)～12月28日(日)                                       | 企画展「ふなばしを掘る」             | 1 階ギャラリー             |
| 10月24日(金)、29日(水)<br>11月12日(水)、28日(金)<br>12月 5 日(金)、17日(水) | とびはく探訪会                  | 史跡公園、1 階～3 階展示室      |
| 令和 8 年 1 月17日(土)、<br>24日(土)、31日(土)                        | 考古学講座                    | 海神公民館 (船橋市海神 6-3-36) |



「ふなばし生涯学習チャンネル」では、両館の職員手作りの学習動画を配信しています。➡

### ご利用案内・交通案内

## 郷土資料館

**開館時間** 午前9時～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)  
**住 所** 船橋市薬円台4-25-19  
**電 話** 047-465-9680  
**F A X** 047-467-1399  
**Eメール** kyodo@city.funabashi.lg.jp

### 交通案内

京成松戸線 習志野駅下車徒歩 10 分  
JR 津田沼駅北口から  
京成バス千葉セントラルで  
「郷土資料館」下車徒歩 2 分



## 飛ノ台史跡公園博物館

**開館時間** 午前9時～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)  
**入 館 料** 一般110円 (団体20名以上70円)  
児童生徒50円 (団体20名以上30円)  
市内在住中学生以下 無料  
**住 所** 船橋市海神4-27-2  
**電 話** 047-495-1325  
**F A X** 047-435-7450  
**Eメール** tobinodai@city.funabashi.lg.jp

### 交通案内

東武アーバンパークライン  
新船橋駅下車徒歩 8 分  
京成本線 海神駅下車徒歩 15 分  
東葉高速線 東海神駅下車徒歩 12 分  
京成バス千葉ウエスト  
JR 船橋駅北口から山手ループ線  
「海神中学校前」下車徒歩 1 分



### 休館日カレンダー

| 10月                                                                                                              | 11月                                                                                                              | 12月                                                                                                              | 令和8年 1月                                                                                                          | 2月                                                                                                               | 3月                                                                                                               |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日 月 火 水 木 金 土<br>1 2 3 4<br>5 6 7 8 9 10 11<br>12 13 14 15 16 17 18<br>19 20 21 22 23 24 25<br>26 27 28 29 30 31 | 日 月 火 水 木 金 土<br>1<br>2 3 4 5 6 7 8<br>9 10 11 12 13 14 15<br>16 17 18 19 20 21 22<br>23 24 25 26 27 28 29<br>30 | 日 月 火 水 木 金 土<br>1 2 3 4 5 6<br>7 8 9 10 11 12 13<br>14 15 16 17 18 19 20<br>21 22 23 24 25 26 27<br>28 29 30 31 | 日 月 火 水 木 金 土<br>1 2 3<br>4 5 6 7 8 9 10<br>11 12 13 14 15 16 17<br>18 19 20 21 22 23 24<br>25 26 27 28 29 30 31 | 日 月 火 水 木 金 土<br>1 2 3 4 5 6 7<br>8 9 10 11 12 13 14<br>15 16 17 18 19 20 21<br>22 23 24 25 26 27 28<br>29 30 31 | 日 月 火 水 木 金 土<br>1 2 3 4 5 6 7<br>8 9 10 11 12 13 14<br>15 16 17 18 19 20 21<br>22 23 24 25 26 27 28<br>29 30 31 |

□ は郷土資料館・飛ノ台史跡公園博物館休館日 ※都合により、休館日が変更になる場合があります。